年間授業計画 新様式例

情報 科 ^{単位数: 2} 単位 科目 情報 I

高等学校 令和5年度 (1学年用) 教科 情報
教 科: 情報 科 目: 情報 I 単位数:
対象学年組:第 1学年 1組~ 5組
教科担当者: (1組:宗藤) (2組:宗藤 (3組:宗藤 (4組:宗藤 使用教科書: (実教出版 「情報 I」) (3組:宗藤 (4組:宗藤) (5組:宗藤)

教科 情報 の目標:

【知識及び扶能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする 【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

科目 情報I の目標:

(9	印識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ピュータやデータの	D活用について理解を深め技 もに、情報社会と人との関わ	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適 切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	報元: オリエンデーション は知識及び技能 情報について学ぶ 直着を理解する (記考力、用物力、表現力等 はでは、 (記考力、日本のでは、 (記号が、日本のでは (記号が、日本のでは (記号が、日本のでは (記号が、日本のでは (記号が、日本のでは (記号が、日本のでは (記号が、 (記号が (記号が (記号が (記号が (記号が (記号が (記号が (記号が (記号が	(1)情報について学ぶ参議 (2)問題を発見、解決するために (3) 情報社会の問題解決 (4) コミュニケーションと情報デザイン	【知識・共変】 情報について学ぶ登載を開解している 【思考・明新・表現】 開始解決に変からから 開始解決に変からから 記述 社会における問題解決と情報について学ぶ登載を関連づけて考えよ うとしている	0	0	0	5
	現元: 歩の重要性と意義一期的的感権 打印職及び技能 前報社長における著作権保書について照解する 旧思考力、判断力、表現力等 目的や状況に応じて、情報を情報技術を適切かつ効 場別した個別して関係を表し、無於する方法について 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会におりの間を発見、条次に、情報と情報 技術を適切かつ効果的に活用しようとしている	1) 知の計座機 (3) 著作権 (4) 著作物 (4) 著作物 (4) 著作物 (4) 著作物 (4) 著作物 (4) 著作物 (5) 著作者が持っ権 (5) 著作者が接触 (7) 著作物・の保護と活用	「知識、技能】 情報社会における著件整役者について理解している 【思身・判断・表現 同的や状況になせ、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して 問題を発見、解決する方法について考えることができる 情報社会における問題の必見、解決に、情報と情報技術を適切かつ 効果的に活用しようとしている	0	0	0	8
	現文:法の重要性と意義一個人情報 土地職及び共総 個人情報とは何かを理解する 「思考力、判別の大変現力等」 個人を発生できる情報とは何が説明する 「大変に確か」の表現を 人ではて確かうか。人が思考して、一定解析し、自分 だけでなく他者の個人情報の取り扱いにも配慮して 行動	(1) 個人情報保護法 - 個人情報について考える	「知識、大被亂」 個人情報とは何かを開解している 【思序・判断・表現】 個人を特定できる情報とは何か説明できる 【主作的に学習に取り組む機能】 「人情報報を対象性と影響について理解し、自分だけでなく他 者の個人情報の取り敷いにも配慮して行動しようとしている	0	0	0	6
	現子、修修社会と情報セキュリティ 地震及び起動。 セイバー犯罪の対分限について理解する 【思考力、判別が、表現力等】 情報セキュリティを確保するための個人の取り組み について考える。 1年初 にのかり、人間性等】 「世界」といて取り組み について取り組み について取り組み について取り組み について取り組み について取り組み	(1) キイバー販売とは (2) 中イバー販売の分類 (3) 情報セキュリティの解集 (4) 不正なファントウェア (5) 製受請求・ワンクリック作款 (6) フィッシング (7) ネットショッピング・ネットオークション作 版	知識、土技能) サイバー型振ぶ3分類について理解できる 【思寿・判断・表現】 情報セキュリティを解除するための婦人の取り組みについて考える ことができる 【主称中で書句に取り組む態度】 情報セキュリティを確保するために、個人がすべきことについて取 り組むうとしている	0	0	0	7
	定期考査			0	0		1
2 学期	単元:情報技術の発展による生活の変化 「加麗なび技術」 アとは何か、アンセル・メディア にはざのような機能からかの提供 (思考力、判断力、表現力等] は々の生活の中でソーシャルメディアにどのように 関わっているか理解する 「おびに向かう人、別性性等] 他者の個人情報やアティバンー、人権を募集して ソーシャルメディアを利用しようとしている。	(1) ソーシャルメディアとわたしたち (2) ソーシャルメディアの望ましい利用	【知識・共享】 「知識・共享】 「おき、大変」 「思考・報告・表現」 日本の生活の中でソーシャルメディアにどのように関わっているか 理解できる 「主体的に学習に取り組む機度】 「主体的に学習に取り組む機度】 「主体的に学習に取り組む機度】	0	0	0	5
	単元:メディアとコミュニケーション 「加廉な技術」かの形成の発達について理解する に思考力、判断力、表現力等」 北思考力、対象力が メディアが発達したことにより、便利になったこと 主題について表える は同じいのかう力、人間性等」 メディアの種類を振り返り、自らの学習を調整する	(1) メディアとコミュニケーションの変遷 (2) メディアの利用で生じる機関 (3) メディアを活用して問題を解決するために	【知識・技能】 コミュニケーターンの手段の発達について理解している メディアが発生したことにより、便利になったことと課題について 考えることができる。 法律的に学習に登り組む機能】 メディアの種類を振り返り、自らの学習を調整しようとしている	0	0	0	8
	元: 諸朝のデジラル化 「地職な行法」 「地職な行法」 アナログとデジタルの強いについて理解する 【思考力、開助、表現力等】 アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点につい で考える。カン、人間性等】 「学びにカタルのデータを扱う身近なものを積極的 に戻し、理解を误める	1) アナログレデジタル (2) コンピュータンチンタル (3) コンピュータで用いられる核の表現 (4) 文字コード (5) さまざまな文字コード体系とUnicode (6) 文字の表示と印刷	知識・技等】 アナコッとデクタルの違いについて理解している 【思考・判断・表現】 アナコッとデクタルのそれぞれの利点と欠点について考えることが できる 【主体的に学習に取り組む極度】 アナロッとデジタルのデータを扱う身近なものを積極的に関し、理 帯を能めようとしている	0	0	0	8
	元子: 権勢デザイン 「加麗なび起う」 「機能学・インの意味について理解する 【思考力、開始、表現力等】 アートと情報デザインの点がも考える 【学びに向かう人、風性等】 情報デザインの力で問題解決に取り組む	1.1 精報デディンとは (2.2) 情報デディンで使かれる手法 (3.3) 情報デザインの作業手順 (4.1) デザイン対象の発見	知識上技能) 情報デザインの意味について関係している 『思孝・判断・美型』 アートと情報デザインの違いを考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
3 学期	単元: コンピュータのしてみ 【知識なけま態】 「知識なけま物」 「知識なけま物」 「記述と無解する 「記述と一解する。 「記述力」、判断が、表現力等1 コンピュータを観示する各類とデータの流れと制 前の流れを表現し、説明する1 エマート フェンの中間をインターボット・関本る活動や、イ ンタフェースを確認する活動に関軸的に取り組む	(1) コンピュータの構成要素 (2) コンピュータ内部の動作のしくみ (3) コンピュータと知识機器 (3) コンピュータと知识機器 (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	【知識・技器】 コンピュータの構成要素やゲータの制御、ゲータの流れを理解して 128号、判断・表現】 コンピュータを構成する各級型とゲータの流れと影響の流れを要現し、説明することができる 【主体的に等数に取り組む態度】 インタースースを確認する活動に関係的に取り組むらとしている	0	0	0	8
	記念:アルイデストグログラム 「中級を行程的」 ・アルイブストの基本物画について開新する ・アルイブストの基本物画について開新する ・2巻 7、 10巻 7、 10巻 7、 10巻 7 10巻	(1) アルゴリズム (2) アルゴリズムの効率性 (3) アルゴリズムの高本構造 (4) アルゴリズムの高本構造 (6) プログブムとは (7) プログブムとは (7) プログラムとは (8) データ構造 (8) データ構造	知識、土地型、 ・アルメリズムの意味でプログラムとの関係を理解している ・プログラムとゲータの関係について理解している 【思考・判断・大規模とは外のでは、アルメリズムを構造化することがで ・、基本構造を組分のでは、アルメリズムを構造化することがで アグラスの中のデック (規則) を表現したり、自分でアレンジしたりす ことができる 【土体的に学習に取り組む機定】 対のよりによるコンピューツで処理できるような事例を自ら考 ル、選挙を係めようとしている	0	0	0	6
	定期考查			0	0		1 合計 70